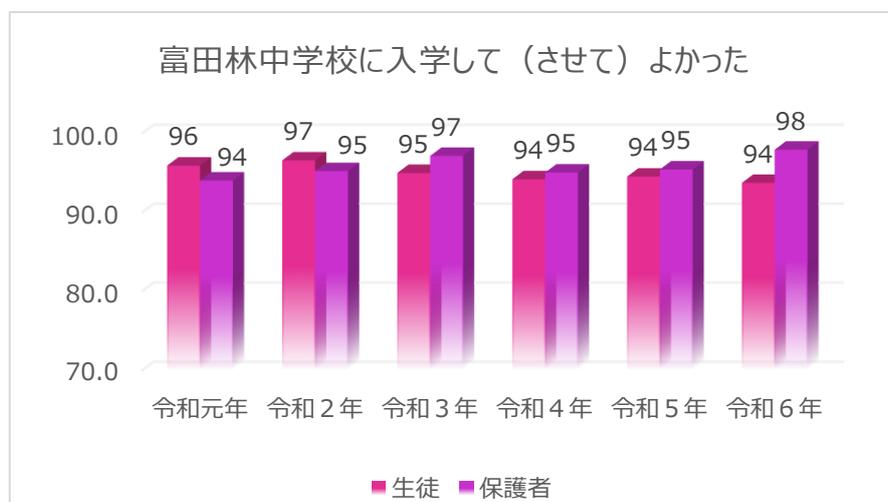


(参考資料)

令和6年度 富田林中学校 学校教育自己診断結果について

✚開校8年目、生徒・保護者からの高い学校満足度を維持しています

開校8年目を迎え、生徒・保護者ともに学校への満足度は引き続き高水準を維持しています。「富田林中学校に入学してよかった」と回答した生徒は94%、保護者の98%が「富田林中学校で学ばせてよかった」と評価しています。特に教職員と生徒間の関係性や学校行事への満足度が向上し、生徒間でも互いに支え合う良好な環境が整いつつあります。また、中高合同の文化祭や体育祭、修学旅行などの行事が充実して実施され、生徒の主体的な取り組みが高く評価されました。一方、教育方針や学校運営に関する情報伝達の明確さについては改善の余地があり、引き続きコミュニケーションの充実が求められています。今後も情報発信の工夫を通じて、さらなる満足度向上を目指します。

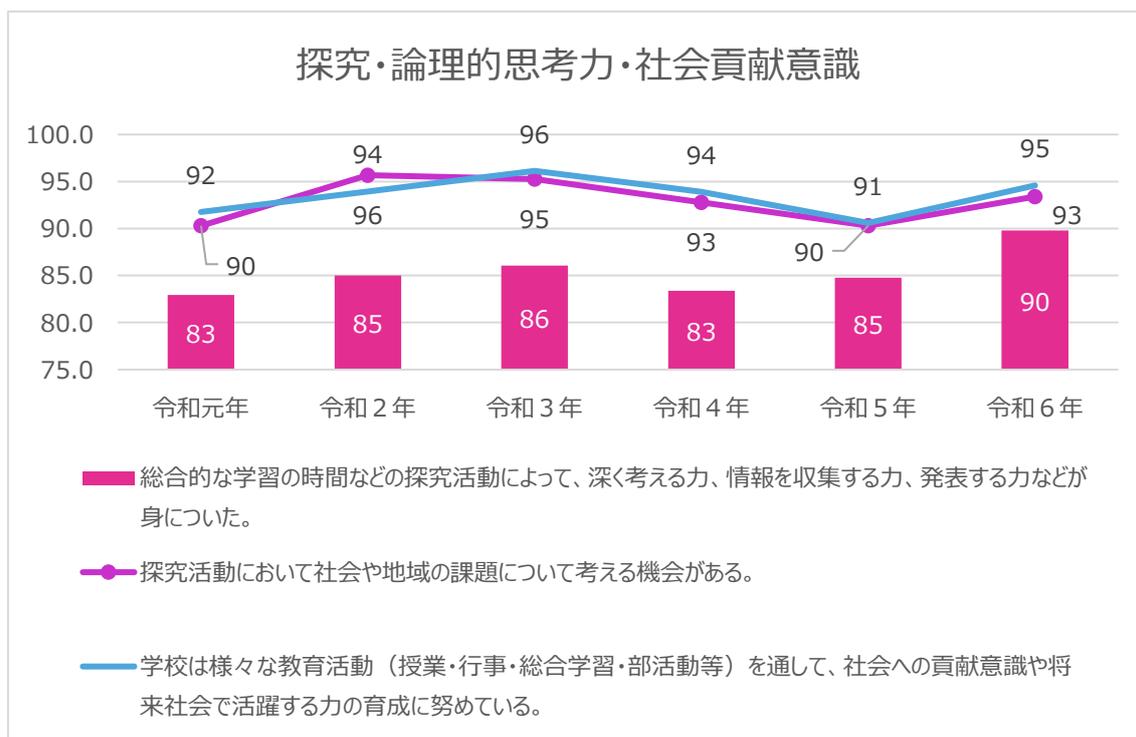


✚ コミュニティスクールの仕組みとSSHの要素を取り入れた探究学習が本校の強みになりました

今年度も探究学習は、コミュニティスクール（CS）の仕組みと、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の要素を取り入れて実施しました。中学1年では探究学習の進め方や企業等の課題を学ぶ場を設け、中学2年では実際に企業を訪問し、体験的に課題を具体的に把握しました。中学3年ではそれらの学びをもとに、企業等に対して課題解決策の提案を行いました。この取り組みにより、生徒の89%が「探究

活動により深く考える力が身についた」と評価し、教職員からは 100%の評価を得ています。

また、令和 6 年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る優秀賞として文部科学大臣表彰を受賞しました。今後も CS を中心とした企業、大学などとの連携を強化し、実社会に即した実践的な学習活動を進めています。



🌍 多様な交流機会を設定したグローバル教育を推進しました

本年度のグローバル教育は、生徒の国際感覚やコミュニケーション能力向上を目的として多様な交流機会を設けました。中学 1 年では元国連事務次長を招いた国連学習やネイティブ講師によるイングリッシュワールド（オールイングリッシュ 1 日）を実施し、国際的な視点を養いました。中学 2 年では台湾、ネパール、マレーシアとの交流活動、JICA 学習を通じて多文化理解を深め、ALT 約 30 名を迎えたイングリッシュワールド（オールイングリッシュ 1 泊 2 日）では実践的な語学力向上に努めました。中学 3 年ではグアムの姉妹校を訪問する初のグアム修学旅行を実施し、生徒の異文化理解や実践的な英語力を高めることができました。これらの取り組みは生徒・保護者双方から高評価を得ており、生徒の満足度は 95%、保護者の満足度は 97%と、成果が顕著でした。

次年度以降は、6 年間を見据えた系統的なプログラムの再構築を行い、生徒がより国際的な視野を持ち、世界で活躍できる人材となれるよう教育環境をさらに整備していきます。

グローバル教育・コミュニケーション力

